



## 東北海岸トレイルの整備について(案)

### <整備の考え方>

- 歩道本線やトイレ等付帯施設については、原則として既存のもの(自然歩道、集落道、農道、車道市町村道等)を活用する。
- 国立公園内の歩道に加え、国立公園内外の利用拠点や統一的に整備すべき標識類を環境省が整備。国立公園外の歩道は自治体が整備。
- 利用者の誘導・案内については、パンフレット等によるソフト的な対応も検討。

### 直轄事業 (事業主体:環境省)

国立公園内

#### ○統一的標識



総合案内標識



誘導標識

※誘導標識等は、既存標識の活用を基本とする。

#### ○歩道の利用拠点

(各県1~2箇所程度予算要望中)



トレイルセンター  
(トレイルの利用、管理・運営の拠点となる施設。必要に応じて展望園地や駐車場等を併設)

#### ○その他の整備(付帯施設・標識等を含む)



歩道本線



乾落防止柵



休憩・展望施設

国立公園外

### 交付金事業 (事業主体:県、市町村 交付率:45%)

#### ○その他の整備(付帯施設・標識等含む)



誘導標識



解説標識



公衆トイレ

## 維持管理・運営の考え方(案)

行政だけの取組には限界がある。地域や民間団体と連携することで、より発展性のある取組をし、地域に貢献できるトレイルを目指す。

### 想定される運營業務

- ・基礎的な情報の発信、地図の作成、ウェブサイト運営
- ・トレイル維持管理の支援(拠点施設等の管理、草刈り、道標の簡易な修繕等)
- ・利用促進の取組(例:最新情報発信、ガイドブック作成、全線踏破認定制度)
- ・民間企業やボランティアとの連携事業 など

### 民間や地域との連携

- (例)
- ・かゆいところに手が届く細かい情報の提供  
→民間が関われば、宿泊施設やお土産、食事処、ガイドツアーなど、案内できる情報の幅は広がる。
  - ・自然状況や施設の危険情報など、速報性の高い情報の提供
  - ・地図の販売等による自主財源の確保

	国立公園内	国立公園外
歩道の維持管理	施設整備の主体が、歩道運営主体の協力を得て行う。	
歩道の運営(活用)	基礎的な情報の発信は環境省。将来的には、地方自治体の協力を得て、民間も参画した管理運営の枠組み作りを進める。	

運営力の向上→トレイルの魅力向上

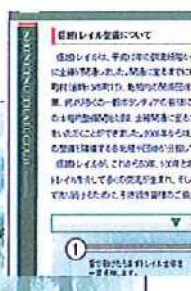
### 信越トレイルの例 (NPO法人信越トレイルクラブ)



#### 事業内容

(以下は、取組の一例を示します。)

- ・トレイル(歩道)の整備・維持管理事業
- ・維持管理事業
- ・地域の文化・活性化に関する事業
- ・自然環境に関する研修・講座
- ・自然環境に関する調査・研究



- ・ルート整備や維持管理に関し、国有林を管轄する森林管理局と協定
- ・信越トレイルクラブ(NPO)による維持管理(緊急雇用制度などを活用)
- ・隣接する自治体や地域による維持管理体制の構築、連絡調整
- ・自治体による資材提供、便宜供与
- ・ルート踏査の段階から、多くの機関・ボランティア等と連携



# 東北海岸トレイルの活用/貢献イメージ



地図や公式ガイドブックを発売。収益を歩道の維持管理や広報に活用



トレイルへの送迎サービスなどによる、民宿の利用促進



民泊



これまであまり注目されてこなかったスポットへもトレイルで誘導。スタンプラリーで効果増。



公共交通機関の利用を促進し、地域の足を守る



ハイカーをターゲットとした日帰り入浴プランの充実



地域の魅力をじっくり味わうことになるハイカーは最高のスポークスマン。口コミの発信が新たな興味地点を生む



トレイルガイドや語り部ガイドの育成



ロングトレイルは海外で関心が高い。日本の自然と文化を味わえるトレイルで海外からも誘客



旅行会社による団体ツアー客の受入れ



朝市や地元の市場は、地元の人々との会話もおいしい食材もあってハイカーには嬉しい



平坦な道が続く場所で、ハイカー向けにレンタサイクルを運営



トレイル沿いの休憩処で地元の甘味や軽食を提供



離島にトレイルを伸ばし、渡し船やレンタルカヤックの利用を提案



漁師がガイドする漁業見学ツアーの開催

今後のスケジュール (予定)

	意見交換会 (対象：全線) 東北海岸トレイル(仮称)基本計画(案)についての周知及び今後のトレイルの活用についての意見交換を行います。	路線検討(現地調査)・勉強会 (対象：八戸市～山田町) 【勉強会】 路線案や供用後の運営体制、利用者のルール、地元におけるトレイルの活用方法などについて協議を深めます。	路線検討 地域の関係者にご協力をいただきながら、現地調査をして路線案を作成します。	運営体制等の検討 (対象：全線) 全線踏破者を認定する仕組みなどのサービスや、トレイルを継続的に管理運営するための体制を検討します。	トレイル試行ハイク (対象：全線) ハイカーの後藤さんが八戸市から相馬市を歩きながら地域を見聞。日記としてホームページで随時公開し、広報活動を展開します。	その他	
平成24年 12月	12/8 大船渡会場 12/7 田野畑会場 12/17 八戸会場 12/20 東京会場(本日) 1月に宮城県内2会場、福島県内1会場で開催を予定		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査</li> <li>・自治体地元活動団体ヒアリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例調査(先進事例ヒアリングなど)</li> </ul>	12/1 八戸市(燕島)スタート	東北海岸トレイル(仮称)基本計画の決定 ウェブサイト開設、シンボルマーク・愛称募集開始	
平成25年 1月	第1回勉強会(田野畑村)						
2月	第2回～第4回勉強会(久慈市)						
3月	第5回勉強会(八戸市)		とりまとめ	とりまとめ	3月末 福島県相馬市松川浦周辺 ゴール	シンボルマーク・愛称決定	
25年度以降	順次、路線の検討や開通に向けた利用環境の整備を進め、部分開通をしていく。 (第一弾の部分開通：平成25年7月予定(八戸市～山田町の一部区間)) 27年度末の全線開通を目指す						



【参考】

環境省 三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のホームページ

<http://www.env.go.jp/jishin/park-sanriku/index.html>

※東北海岸トレイル（仮称）のホームページは、今後別途立ち上げる予定です。

The screenshot shows a web browser window displaying the official website of the Ministry of the Environment, Japan. The page title is "三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興" (Green Reconstruction: Creating a new Sanriku Fukko(reconstruction) National Park). The URL is <http://www.env.go.jp/jishin/park-sanriku/index.html>. The page features a navigation menu with links for "トップページ" (Home), "お知らせ" (Information), "グリーン復興ビジョン" (Green Reconstruction Vision), "審議会" (Advisory Committee), "調査報告書・資料" (Investigation Reports and Materials), and "国立公園を楽しむ" (Enjoying National Parks). A large photograph of a coastal landscape with a beach and rocky cliffs is shown. Below the photo, the text reads: "環境省は、森里川海が育む自然とともに歩む「グリーン復興」を進めます。" (The Ministry of the Environment will advance "Green Reconstruction" along with the nature nurtured by the forest, mountains, and sea). To the right, there is a section titled "お知らせ(新着)" (Information (New)) with a list of recent news items, including dates and links to related pages. At the bottom, there is a section titled "国立公園を楽しむ(国立公園事業のご紹介)" (Enjoying National Parks (Introduction to National Park Projects)) with a list of links for "国立公園を美しく学ぶ" (Learn to enjoy national parks), "国立公園を美しく" (Enjoy national parks), "国立公園で遊ぶ" (Play in national parks), "国立公園で泊る" (Stay in national parks), "国立公園で味わう" (Taste in national parks), "国立公園に自まつ" (Self-reliance in national parks), and "日帰り入浴" (Day-trip bathing).

## 東北海岸トレイル（仮称）ハイカーの紹介

**氏名：後藤駿介(22歳)**

出身地：千葉県

趣味：サッカー、寄り道

僕をみかけたら  
声をかけて  
ください。



ひとこと：

ただただ、東北という土地に惹かれ、東北海岸トレイルを歩いてみたいと思いました。

「いま、地方で生きるということ/西村佳哲著」を読み、東北の方は、自分の住んでいる場所を愛し、その良さを残そうという意味がとても強いと感じました。その気持ちは、震災後いっそう強くなっていると思います。

実際に東北を訪れ、土地の素晴らしさ、特産物、人柄、熱い気持ちなどに触れ、わずかな力ですが、それらを伝えていけたら、と思います。

○予定している行程：

- 1 2月～1月初旬 八戸市～山田町
- 2月 大槌町～石巻周辺
- 3月 松島周辺～相馬市松川浦









の散策会……………6面  
 「震災語り部」の養成で、被災地ツアー一体  
 会……………6面  
 国連の友アジア・パシフィックが、滝の里  
 工業団地仮設住宅で交流会……………7面

「よしの紙面」

## 「三陸復興」で指定へ

### 名称変更 気仙含む陸中海岸国立公園 意見募集

環境省は、気仙沿岸を素をまとめた。21日  
 を含む陸中海岸国立公園（金）まで、意見を募集  
 園を「三陸復興国立公園」として変更指定す  
 今年5月、環境省は



東日本大震災からの復  
 興に貢献するため、三  
 陸復興国立公園の創設  
 を核とした「グリーン  
 の復興ビジョン」を公  
 表。自然公園再編成の  
 第一段階として、青森  
 県の種差海岸階上岳原  
 立自然公園などを陸中  
 海岸国立公園に編入。  
 さらに同公園を三陸復  
 興国立公園に指定す  
 る。

三陸地域の自然風景  
 地を、最新の科学的知  
 見を考慮してとらえ直  
 し、傑出した自然風景  
 を有する地域を中核と  
 しながら、段階的に再  
 震災からの復興貢献を  
 ふまえた計画・整備方  
 針に変更し、磐石海岸

らされ、旨みが増すII  
 大船渡市

じめとした農林水産業  
 と連携した利用▽船に  
 より海岸景観を鑑賞す  
 る利用▽食や体験を通  
 じて三陸地域の自然・  
 文化を感じることがで  
 きる利用▽自然の脅威  
 を学ぶことができる利  
 用―などを進める。

指定案の基本方針に  
 よると、風景形式は  
 「わが国最大級の海食  
 崖とリアス海岸が連続  
 した傑出した自然海  
 岸」。主な景観要素と  
 して海食崖やリアス海  
 岸、砂浜海岸とマツ  
 林、海岸植生、古い年  
 代の地質と化石、海鳥  
 の繁殖地、津波の痕  
 跡、文化景観などを挙  
 げている。自然の恵み  
 や脅威、人間と自然と  
 の共生によって育まれ  
 てきた暮らし、文化が  
 感じられる国立公園を  
 テーマとしている。  
 これまでの利用形態  
 に加え▽漁業体験をは

食品コース3年生の  
 森耕一君は「内臓をし  
 て養護し、意見をいた  
 595・1716）や  
 電子メール（shizen@  
 women.go.jp）でも  
 受け付けている。件名  
 として「三陸復興国立  
 公園の指定への意見」  
 と記載し、住所や氏  
 名、ファクス、メール  
 アドレスを添える。

陸中海岸国立公園  
 は、昭和30年5月に普  
 代村から釜石市までの  
 太平洋に面した海岸線  
 を中心に指定。昭和39  
 年6月には南部地域と  
 して釜石市から気仙沼  
 市まで、昭和46年には  
 北部地域として久慈市  
 がそれぞれ加わった。  
 今回、青森県八戸市や  
 階上岳原立自然公園の  
 区域を国立公園に編入  
 する。

利用施設計画のう  
 ち、大船渡市の磐石海  
 岸をはじめとした集団  
 施設地区は、東日本大  
 震災からの復興への貢  
 献をふまえた計画目  
 標、整備方針に変更す  
 る。

意見提出先は環境省  
 自然環境局国立公園課  
 〒100-8975  
 東京都千代田区霞が関  
 1の2の2。21日  
 （金）まで受け付け、郵  
 送の場合は当日消印有  
 効。ファクス（03・3  
 595・1716）や  
 電子メール（shizen@  
 women.go.jp）でも  
 受け付けている。件名  
 として「三陸復興国立  
 公園の指定への意見」  
 と記載し、住所や氏  
 名、ファクス、メール  
 アドレスを添える。

提出意見は、その概  
 要と対応方針を取りま  
 とめた上で1月に公  
 表。3月に中央環境審  
 議会に変更案を諮問  
 し、5月には答申を踏  
 まえ変更内容を官報告  
 示する予定。

新年交賀会再開  
 で会券発売へ  
 大船渡商工会議所  
 大船渡商工会議所の  
 定例記者会見は20日、  
 盛岡サン・リア内の会  
 議所事務所で開かれ  
 た。同商議所などが主  
 催する年頭の新年交賀  
 会を再開させ、来月初  
 めから会券発売を始め  
 ることなどが発表され  
 た。

交賀会は商議所など  
 各種団体が主催し、市  
 民による恒例の新年あ  
 いさつの場として例  
 年、正月三が日明けに  
 開いている。今年は東  
 日本大震災の影響を考  
 慮し、主催団体では開  
 催を見送っていた。会  
 券は今年3日から14日  
 の期間販売することに  
 しており、周知してい  
 る。

このほか  
 質疑で、師事  
 所感を問われ  
 明会頭は「伴  
 所も再建に必  
 ードが高まっ  
 は言えないの  
 のような人、  
 な気が選ばれ  
 被災地のため  
 ってもらいた  
 べた。

00人を対象  
 職調査、市  
 ョップや片  
 づき取りま  
 ている計画  
 策定の趣旨  
 2次計画との  
 の対比など  
 明した。



# 東北海岸トレイル（仮称）についての意見交換会

## 次 第

日時：平成24年12月20日（木）14：00～16：00

場所：砂防会館（別館）3階会議室「立山」

1. 開会
2. あいさつ・趣旨説明
3. 議事
  - (1) 東北海岸トレイル（仮称）について
  - (2) 意見交換
4. その他
5. 閉会

### 資料

- ・資料1 東北海岸トレイル（仮称）について
- ・資料2 東北海岸トレイル（仮称）基本計画（案）
- ・資料3 今後のスケジュール
- ・資料4 東北海岸トレイルハイカーの紹介
- ・グリーン復興プロジェクト（パンフレット）



